

古紙ジャーナル

奈良市朱雀1-3-27
www.kosjinl.co.jp
(有)古紙ジャーナル社
発行人 本願 貴浩
TEL (0742)72-1798
FAX (0742)90-1461
E-mail info@kosjinl.co.jp
購読料 年間45,360円(税込)

OVOL



日本紙パルプ商事グループ
www.kampco.co.jp

えこ便の展開で自社PR+違法業者排除 今後は動脈・静脈産業の垣根がなくなる

【平林金属㈱ 平林社長インタビュー】

岡山県で鉄スクラップを手掛ける総合リサイクルを手掛ける平林金属株式会社を訪ね、平林社長に様々なことを聞いた。特に印象的だった言葉が、「平林金属という会社は得來なくとも社員に伝えたい。この真意については本文を読んでもらいたたい。平林社長はこれまで、斬新な手法による取り組みを積極的に行ってきた。その代表例が同社が手掛けるえこ便である。えこ便とは、再生資源物の有形式ポイント回収システムだが、これほどのスケールでポイント回収を行う業者は他にいない。えこ便を「一カ所開設するの」に二箇所ほど投資しているが、資源物の回収だけでは当然、採算が全く合わない。えこ便の真の狙いは、蔓延する違法業者の排除と、会社のPRと兼ねたブランディングである。



平林金属㈱ 平林社長

平林金属㈱ 平林社長インタビュー
中国の環境規制の影響により、ミックススタルの影響は？



平林金属の主力である鉄スクラップ加工事業

「中国の環境規制の影響により、ミックススタルの扱ひ量が増えたり。鉄も非鉄も廃プラも古紙も、全米中国の政策が半になつてくる。」



西大寺工場では鉄の精選作業を行っている。

「弊社はこれまで国内リサイクルに拘り続けてやつてきた。周りからは、中国に輸出すればコストを安くして高値で売れるのに、と言われている。これまでの自社選別のノウハウがあるのだから、中国向け輸出が止まっても困ることはない。」



昨年十二月、新たに開設した古紙ヤード(西大寺工場内)

「フェデラクターダストや廃プラの国内処理が通じてきた。処理費用が喜んでいるものもある。廃プラ



現在四カ所で開催するえこ便が地域住民から支持を受けている

「これは年間数十万トンが中国向けに輸出されていたが、これらの処理を国内でだけできるのが、今後の課題だと言える。既に一部地域では廃プラの処理費用がキロ七十円という高値を出している。例えば農業系のビニールハウスの処理や、塩ビプラの処理が行き詰まると野菜等の価格高騰に繋がる。」

「フェデラクターダストは処理費用がかかる。RPFにすることも、混じり物が入つており、完全に塩素を除去しないとダメなので、処理設備の費用や時間がかなりかかる。弊社はサマールリサイクルに月間千トンに向けている。しかしあくま

でもこのサーマル化は中継ぎ。最終的にはマテリアル化を行ってきたい。」

Q・廃プラの国内処理が逼迫している状況について

「例えばワンポイントリリーフとしてこういうのはどうでしょうか?現在、全国に千カ所以上の一般廃棄物の焼却炉があり、稼働率は全体で約半分くらいと言われてます。一般廃棄物の焼却炉は法律上、あわせ産廃として処理することが認められています。中国が廃プラの受け入れを止めた急場を凌ぐためには必要ではないでしょうか。」

Q・初めは古紙ヤードを開発した

「昨年十二月三日に弊社初となる古紙ヤードを開発した。古紙ヤードの開発は以前から計画していた。様々な総合リサイクル業者さんから、何で古紙も自前

「弊社ではこれまで国内リサイクルに拘り続けてやつてきた。周りからは、中国に輸出すればコストを安くして高値で売れるのに、と言われている。これまでの自社選別のノウハウがあるのだから、中国向け輸出が止まっても困ることはない。」

「フェデラクターダストや廃プラの国内処理が通じてきた。処理費用が喜んでいるものもある。廃プラ

「これは年間数十万トンが中国向けに輸出されていたが、これらの処理を国内でだけできるのが、今後の課題だと言える。既に一部地域では廃プラの処理費用がキロ七十円という高値を出している。例えば農業系のビニールハウスの処理や、塩ビプラの処理が行き詰まると野菜等の価格高騰に繋がる。」

「弊社ではこれまで国内リサイクルに拘り続けてやつてきた。周りからは、中国に輸出すればコストを安くして高値で売れるのに、と言われている。これまでの自社選別のノウハウがあるのだから、中国向け輸出が止まっても困ることはない。」